

JIS 対応の検定試験（新規・昇格・継続）について

1. 検定試験方法

(1) 継手性能検査方法

- ① 全数目視検査 (JIS Z 3882 準拠)
- ② 引張試験・曲げ試験 (JIS Z 3882 準拠)
- ③ 破面検査 (2015年版建築物の構造関係技術基準解説書)

(2) 試験体作成について

- ① 新規・昇格は3時間、継続は1時間（試験時間内であれば、再施工可）
- ② 試験体は、引張試験用1本、表曲げ試験用2本、裏曲げ試験用2本を作製する
- ③ 配布する鉄筋は6セット（1セットは、電気合わせ用）
- ④ 受験者には試験体提出の際に、1番～5番まで番号をマーキングする
1番が引張試験、2・3番が表曲げ、4・5番が裏曲げ

(3) 試験区分

- ① 梁方向
 - F-2 SD390 / D35（タケ節）：60kg級ワイヤ（G59*****：MG-60、KC-60等）
 - F-1 SD490 / D41（ネジ節）：70kg級ワイヤ（G69*****：MG-70、KC-65等）
- ② 柱方向
 - H-2 SD390 / D35（タケ節）：60kg級ワイヤ（G59*****：MG-60、KC-60等）
 - H-1 SD490 / D41（ネジ節）：70kg級ワイヤ（G69*****：MG-70、KC-65等）

(4) 受験内容

- ① F-2を保有 F-2の試験を受験
- ② F-2・H-2を保有 H-2の試験を受験（F-2の試験は免除）
- ③ F-1を保有 F-1の試験を受験（F-2の試験は免除）
- ④ F-1・H-2を保有 F-1・H-2の試験を受験
- ⑤ F-1・H-1を保有 H-1の試験を受験（F-1の試験は免除）

(5) 溶接機材・材料について

- ① 協会施設等において鉄筋、CB及び溶接ワイヤを支給
（F-2・H-2はMG-60を支給 F-1・H-1はMG-70を支給）
- ② 溶接機の持ち込み、チップ・ノズルの種類は自由
- ③ 溶接ワイヤの持ち込みは指針に基づいて選定のこと
（F-2・H-2は60kg級ワイヤを選定 F-1・H-1は70kg級ワイヤを選定）
- ④ 立会試験において鉄筋以外は受験者が用意する
（F-2・H-2は60kg級ワイヤを選定 F-1・H-1は70kg級ワイヤを選定）

(6) 申し込み・会場について

- ① 事前申し込みにて仮予約となり、案内発送を持って日程確定となります
- ② 継続試験は免許有効期限の1年前から受付けます
（2018年4月の受付は、2019年4月期限の免許更新）
- ③ 受験会場は協会施設等（土岐実験室・埼玉研修所・愛知工業大学7号館）、その他応談

(7) 費用

- ① 新規試験・昇格試験は5万円
- ② 継続試験は3万円
- ③ 協会施設等以外では立会試験となり実費（交通、宿泊費）をご負担いただきます

(8) タイムスケジュール

新規・昇格試験

午前 9：00～12：00

午後 13：00～16：00

継続試験

1組目 9：30～10：30

2組目 10：50～11：50

3組目 12：10～13：10

4組目 13：30～14：30

5組目 14：50～15：50

※自前の溶接機の据え付けは、組間の20分間に行う。

20分間に収まらない場合でも、スケジュール通り試験を行います

試験当日の流れ

受付：会場到着後速やかに立会員に下記の提示をしてください

- ・協会施設等の場合、免許
- ・立会試験の場合、事前支給の鉄筋の他に溶接ワイヤ、CB及び免許

実技開始：立会員に呼ばれたら指定のブースに入り開始してください

試験体番号1～5のマーキングを済ませて試験材（予備材共）を提出
時間内にブースの清掃を済ませてください